



令和2年9月18日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

ムーンショット型研究開発事業における プロジェクトマネージャーの決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、ムーンショット型研究開発事業のプロジェクトマネージャー募集における採択者を決定しました。

ムーンショット型研究開発事業は、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標（ムーンショット目標）を国が設定し、挑戦的研究開発を推進すべき分野・領域などとして文部科学省により定められた研究開発構想に基づき、研究開発を推進するものです。ムーンショット目標に関する研究開発全体の責任者である構想ディレクター（PD）の下、プロジェクトマネージャー（PM）は、ムーンショット目標達成および研究開発構想実現に至るシナリオの策定、研究開発プロジェクトの設計、研究開発体制の構築、研究開発プロジェクトの実施管理などを行います。提案はムーンショット目標ごとに募集し、PDがアドバイザーなどの協力を得ながら選考しました。

JSTが担当する4つのムーンショット目標について募集した結果、127名の応募がありました。募集締め切り後、書類選考と面接選考を実施し、19名を採択しました。

今後、ムーンショット目標達成に向けて、より効果的・効率的な研究開発となるようPDの指揮の下、採択されたPMは、ムーンショット目標達成に至るシナリオ、研究開発プロジェクトの詳細計画などの作り込み（提案した研究開発プロジェクトの内容の見直しなど）を行います。その内容が妥当であるとPDに認められたPMは、研究開発プロジェクトの実施が可能となります。

詳細は下記ホームページを参照してください。

<https://www.jst.go.jp/moonshot/index.html>

<添付資料>

別紙1：応募数および採択数

別紙2：プロジェクトマネージャー（PM）・研究開発プロジェクト一覧

別紙3：評価者一覧

参考1：選考の観点

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 挑戦的研究開発プログラム部

小西 隆（コニシ タカシ）

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

Tel：03-5214-8419 Fax：03-5214-8427

E-mail：moonshot-koubo@jst.go.jp

※電子メールでお問い合わせください。

応募数および採択数

ムーンショット目標名	応募数	採択数
ムーンショット目標 1 2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現（PD：萩田 紀博）	39	3
ムーンショット目標 2 2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現（PD：祖父江 元）	49	5
ムーンショット目標 3 2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現（PD：福田 敏男）	30	4
ムーンショット目標 6 2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現（PD：北川 勝浩）	9	7
合 計	127	19

プロジェクトマネージャー（PM）・研究開発プロジェクト一覧

（五十音順）

ムーンショット目標1「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
石黒 浩	大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授	誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現
金井 良太	株式会社アラヤ 代表取締役	身体的能力と知覚能力の拡張による身体への制約からの解放
南澤 孝太	慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授	身体性と社会性が調和した共同体験を生み出すサイバネティック・アバター技術の開発

ムーンショット目標2「2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現」

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
合原 一幸	東京大学 特別教授	複雑臓器制御系の数理的包括理解と超早期精密医療への挑戦
大野 茂男	横浜市立大学 大学院医学研究科 特任教授	生体内ネットワークの理解による難治性がん克服に向けた挑戦
片桐 秀樹	東北大学 大学院医学系研究科 教授	恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服
高橋 良輔	京都大学 大学院医学研究科 教授	臓器連関の包括的理解に基づく認知症関連疾患の克服
松浦 善治	大阪大学 微生物病研究所 教授	ウイルスー人体相互作用ネットワークの理解と制御

ムーンショット目標3「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
菅野 重樹	早稲田大学 理工学術院 教授	一人に一台一生寄り添うスマートロボット
永谷 圭司	東京大学 大学院工学系研究科 特任教授	多様な環境に適応する協調型AIと群ロボットによるインフラ建設の革新

原田 香奈子	東京大学 大学院医学系研究科・工学系研究科 准教授	人とAIロボットの創造的共進化によるサイエンス開拓
平田 泰久	東北大学 大学院工学研究科 教授	誰一人取り残さない多様性と包摂性のある社会を実現するAIロボット群と創る新しいライフスタイル

ムーンショット目標6「2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現」

PM氏名	所属・役職	研究開発プロジェクト名
小芦 雅斗	東京大学 大学院工学系研究科 教授	誤り耐性型量子コンピュータにおける理論・ソフトウェアの研究開発
小坂 英男	横浜国立大学 大学院工学研究院／先端科学高等研究院 教授	量子計算網構築のための量子インターフェース開発
高橋 優樹	沖縄科学技術大学院大学 量子情報物理実験ユニット 准教授	イオントラップによる光接続型誤り耐性量子コンピュータ
古澤 明	東京大学 大学院工学系研究科 教授	誤り耐性型大規模汎用光量子コンピュータの研究開発
水野 弘之	株式会社日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ 主管研究長兼 日立京大ラボ長	シリコン超並列NISQコンピュータの研究開発
山本 俊	大阪大学 大学院基礎工学研究科／先導的学際研究機構 教授	ネットワーク型量子コンピュータによる量子サイバースペース
山本 剛	日本電気株式会社 システムプラットフォーム研究所 主席研究員	超伝導量子回路の集積化技術の開発

※研究開発プロジェクト名は、採択後の作り込み（提案した研究開発プロジェクトの見直しおよび具体化）を経て変更される場合があります。

評価者一覧

ムーンショット目標1「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」

	氏名	所属・役職
構想ディレクター (PD)	萩田 紀博	大阪芸術大学 芸術学部 アートサイエンス 学科 学科長・教授
アドバイザーなど外部 有識者	稲見 昌彦	東京大学 総長補佐／先端科学技術研究セ ンター 教授
	落合 啓之	九州大学 マス・フォア・インダストリ研究 所 教授
	加納 敏行	日本電気株式会社 データサイエンス研究所 上席技術主幹
	北野 宏明	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研 究所 代表取締役社長 兼 所長
	小林 正啓	花水木法律事務所 所長
	佐久間 一郎	東京大学 大学院工学系研究科附属医療福祉 工学開発評価研究センター 教授
	坪井 俊	武蔵野大学 工学部数理工学科 特任教授
	土井 美和子	情報通信研究機構 監事
	徳田 英幸	情報通信研究機構 理事長
	野原 佐和子	株式会社イプシ・マーケティング研究所 代 表取締役社長
	東野 輝夫	大阪大学 大学院情報科学研究科 教授
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表

ムーンショット目標2「2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現」

	氏名	所属・役職
構想ディレクター (PD)	祖父江 元	愛知医科大学 理事長・学長
アドバイザーなど外部 有識者	伊佐 正	京都大学 大学院医学研究科 教授
	岡部 繁男	東京大学 大学院医学系研究科 教授
	落合 啓之	九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 教授
	尾畑 申明	東北大学 大学院情報科学研究科 教授
	國府 寛司	京都大学 大学院理学研究科 教授
	菅野 純夫	千葉大学 未来医療教育研究機構 特任教授
	鈴木 蘭美	ヤンセンファーマ（株） メディカルフェアーズ本部 本部長
	高井 義美	神戸大学 大学院医学研究科 特命教授
	谷口 維紹	東京大学 総長室アドバイザー
	富岡 研	（株）ニコン ヘルスケア事業部 マーケティング統括部 マーケティング部 部長
	中山 俊憲	千葉大学 副学長／大学院医学研究院 研究院長・医学部長
	西浦 廉政	北海道大学 名誉教授
	米田 悦啓	医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長
	若山 正人	東京理科大学 副学長

ムーンショット目標3「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」

	氏名	所属・役職
構想ディレクター (PD)	福田 敏男	名城大学 大学院理工学研究科 教授
アドバイザーなど外部 有識者	石塚 満	東京大学 名誉教授
	植木 美和	株式会社富士通研究所 プロジェクトマネージャー
	上田 修功	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 フェロー ／理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長
	大倉 典子	芝浦工業大学 名誉教授／SIT総合研究 所 特任教授
	奥乃 博	京都大学 名誉教授
	尾畑 伸明	東北大学 大学院情報科学研究科 教授
	笠原 博徳	早稲田大学 副総長／理工学術院 教授
	久保田 孝	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授
	國府 寛司	京都大学 大学院理学研究科 教授
	小菅 一弘	東北大学 ディスティングイッシュトプロ フェッサー／大学院工学研究科 教授
	塩沢 恵子	株式会社アドイン研究所 取締役
	橋本 秀紀	中央大学 理工学部 教授

ムーンショット目標6「2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現」

	氏名	所属・役職
構想ディレクター (PD)	北川 勝浩	大阪大学 大学院基礎工学研究科 教授／先導的学際研究機構 量子情報・量子生命研究センター センター長
アドバイザーなど外部 有識者	石内 秀美	キオクシア株式会社 技術改革推進部 部長附
	井元 信之	大阪大学 先導的学際研究機構 特任教授
	小澤 正直	中部大学 工学部 特任教授
	川畑 史郎	産業技術総合研究所 デバイス技術研究部門 研究グループ長
	上妻 幹旺	東京工業大学 理学院 教授
	佐野 健太郎	理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー
	茂本 勇	東レ株式会社 先端材料研究所 研究主幹
	中村 泰信	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
	村尾 美緒	東京大学 大学院理学系研究科 教授
	山下 茂	立命館大学 情報理工学部 教授
	若山 正人	東京理科大学 副学長

選考の観点

選考は、主に以下の観点などにに基づき総合的に実施しました。

- ① PMとしての資質
 - 最先端の研究開発を推進するため、国内外の関連する研究者などの幅広い人的なネットワークや専門的な知識を有すること。
 - 最適な研究開発体制を構築し、進捗状況などに応じて機動的に体制を見直すなどのマネジメント力、リーダーシップ力を有すること。
- ② PMの提案する研究開発プロジェクト
 - PMから提案されたプロジェクトの目標や内容（以下「提案内容」という。）が、従来のものと比べ、より大胆な発想に基づくものかつ挑戦的なものであり、将来の産業・社会に大きなインパクトが期待される革新的なものであること。
 - 2050年の目標達成に向けて、技術的観点や官民の役割分担を含む社会実装の観点から妥当なシナリオ（成功の仮説）を明確に説明できるものであること。
 - 提案内容が国内外を問わずトップレベルの研究開発力や知識、アイデアを結集するものであること。